広報 かじき

第215号
昭和48．9．1発行
発行　鹿児島県姶良郡加治木町役場
編集　総務課文書係
印刷　吉屋印刷所

おとしよりの立ち話し（小山田・川内）

やがて〝秋冷の候〟

橋涼し微茫と月の桜島　牧暁村

■立秋は、もうとっくに過ぎたのに、まだ日中は残暑がきびしいようです。でも朝夕はハッとするような涼しい風がしのびこみます

■9月1日は「防災の日」50年前の関東大震災を記念したもので、災害に対する心構えをふだんから準備しようというねらいです

■11日は「十五夜」子供たちの綱引きや相撲をまじえた、お月見は風情のあるもの。15日は「敬老の日」そして23日は「秋分の日」秋の彼岸の中日。この日を過ぎると〝秋冷の候〟を迎えます。

昭和48年
9月号

■メモ　人口19,587　男／9,243　女／10,344　世帯／6,229　（48年8月1日現在）

もしグラッときたら……あわてずに　おちついて

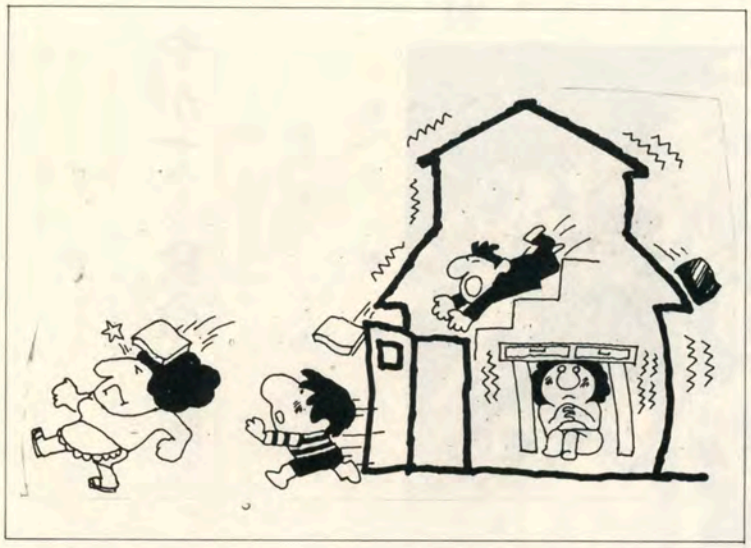
火のしまつを真っ先に

9月1日／防災の日

四十九年前の大正十二年九月一日、午前十一時五十八分四十五秒に関東大震災が起こりました。また、この日は暦の上で農家の厄日として恐れられている二百十日にあたり、古くから台風の襲来の最も多い時期でもあります。

昭和三十五年六月に、この九月一日を「防災の日」と決め、国民ひとりひとりが台風や高潮津波、地震などの災害について認識を深め、これに対処する心がまえを、ふだんから準備する日として設けられました。

「防災の日」を機会に家庭で、職場で、万一の災害に備えての日ごろの心がまえを、身の回りをもう一度点検したり行動の安全など、真剣に話し合うようにしたいものです。



地震はいつ起こるかわからない

日本は、世界でもとくに地震の多い国です。地震はいつ、どこで、どんな大きさのものが起こるか、前もって知ることはできません。

しかし、地震そのものは防ぐことができないとしても、地震による被害は防ぐことができるはずです。そのためには、地震に対する知識と心がまえを十分、身につけておくことが必要です。

もしグラグラッときたら、そのときはどう行動するか、地震に対する心がまえなどを、まとめてみました。

地震の際の心得十カ条

① すばやく火の始末
② あわてて戸外に飛び出さず、まず丈夫な家具などに身を寄せる
③ 一分過ぎたら、まず安心
④ 火が出たら、まず消火
⑤ 避難は徒歩で、持ち物は最少限に
⑥ 狭い路地、へいぎわ、がけや川べりに近寄るな
⑦ 山津波、がけ崩れに注意
⑧ 海岸では津波、低地では浸水に注意
⑨ 余震を恐れずデマに注意
⑩ 秩序を守り、衛生に注意

一分過ぎたら まず、安心…

大きな地震でも、瞬間的に建物が倒れたり、壊れたりすることはない。はじめに起こる初期微動につづいて、はげしい〝ゆれ〟がくる。しかし、一分以上つづくことはめったにない。

建物の中にいるとき…

□…あわてて外に飛び出さない。
□…丈夫な机やベッドなどに身をかくして様子をみる。
□…窓ガラスや階段には近寄らない。
□…倒れやすい建物の一階にいて、危険を感じたときは、頭に座ぶとんなどをかぶって近くの広場か、鉄筋コンクリートビルなどに避難する。
□…二階以上にいるときは、あわてて外に飛び出そうとしない。

デパートやスーパーにいるとき

■…デパート、スーパーマーケット、映画館、劇場や公会堂などでは、天井などから落下物があるといけないので上

衣や持っているもので頭を覆い、また椅子の間に身をかくす。

■…停電で一時まっ暗になることがあっても、あわてて出口や階段に殺到しないで、責任者の指示にしたがう。

道路や商店街にいるとき…

□…道路、とくに商店街では、かわらや看板、窓ガラスなどが落ちてきたり、電柱が倒れたり、電線が切れてたれさがるおそれがあるので、かばんや買物かごなどで頭を覆い、近くの鉄筋コンクリートビルに逃げこむか、広場に避難する。

□…せまい道路、へいぎわ、がけ下や川べりにいたら、その場をさけて広場などに避難する。

□…木造の商店街は、道路がわに倒れやすいので、気をつける。

□…石油スタンド、ガスタンク、建設現場などからは、できるだけ遠くへ避難する。

□…自転車に乗っているときは、ハンドルをとられるおそれがあるので、自転車を道路ぎわにおいて、近くの広場に避難する。

□…避難するときは、道路の車に十分気をつける。

自動車を運転しているとき

■…あわてて急停車しないで、ハンドルをとられないようにしっかり握り、徐々に速度を落とし、道路の左がわに停車して様子をみる。

■…カーラジオで交通情報、火災情報、津波情報などを聞く。

■…交通情報などによる混雑した道路や危険な方向は避ける。

■…ガス管が破損してガス漏れがあるときは、エンジンのスパークなどで引火して火災を起こしたり、爆発したりするおそれがあるので、エンジンは直ちに止める。

地震によって起こる現象

▽…**がけくずれ・地すべり**——がけ下や斜面に起こりやすい。

▽…**地割れ**——堤防、道路、埋立地など地盤のやわらかいところに、起こりやすい。

▽…**山津波**——山の斜面などに起こり、土砂が谷間や低いところを早い速度でおりてくる。

▽…**断層**——震源の浅い地震のときに起こる地盤のくいちがい。

▽…**隆起と沈下**——土地が広い範囲に盛り上がったり、低くなったりする。

▽…**津波**——海底の地震によって発生するが、震源によって地震との時間のずれが異なるので、沿岸地では津波警報に注意する。

正しい情報をつかむ

大きな地震があると、ラジオやテレビなどで地震の大きさ、津波や火災などについての放送があるので、正しい情報をつかんで〝デマ〟にまどわされないようにしよう。

停電することもあるので、トランジスタラジオを用意しておく。

あらかじめしておくこと

○…名前、年齢、住所、血液型をかいた名札を用意しておく。

○…懐中電灯、トランジスタラジオの置く場所をきめておく。貴重品は一カ所にまとめ、家族全員に知らせておく。

マグニチュードと震度

地震があったとき、気象庁は各地の震度を発表しますが、これはその場所の地震動の強さを人体感覚とその付近のものの揺れかたから、きめたものです。

■気象庁の震度階級

0：（**無感**）人体に感じないで　地震計に記録される程度

1：（**微感**）静止している人や特に地震に注意深い人だけに感ずる程度の地震

2：（**軽震**）大ぜいの人に感ずる程度のもので、戸障子がわずかに分かるくらいの地震

3：（**弱震**）家屋がゆれ、戸障子がガタガタと鳴動し、電灯のようなつり下げ物は相当ゆれ、器内の水面が動くのがわかる程度の地震

4：（**中震**）家屋の動揺が激しくすわりの悪い花びんなどは倒れ器内の水はあふれ出る。

5：（**強震**）壁に割れ目がはいり墓石や石どうろうが倒れたり煙突、石垣などが破損する程度の地震

6：（**烈震**）家屋の倒壊は30パーセント以下で山くずれが起き、地割れを生じ、多くの人々は立っていることができない程度の地震

7：（**激震**）家屋の倒壊が30パーセント以上におよび、山くずれ、地割れ断層などを生じる。

秋の全国交通安全運動

〝子供と老人を守る〟

期間／9月21日～9月30日

「秋の全国交通安全運動」が、ことしも九月二十一日から三十日までの十日間、全国いっせいに行なわれます。

今回の運動の重点は①スクールゾーンの整備充実②子ども、母親運転者に対する交通安全教育の徹底を図り、これまで交通事故の最大の被害者である、子どもと老人の事故をなくすことに重点をおいています。

歩行者の事故防止に役立つ

まず、運動の重点の一つであるスクール・ゾーン対策をみますと四十七年春の全国交通安全運動からスタートしたスクール・ゾーンは、ことし春の運動期間中に全国で一万九千三百二十五カ所（当町では錦江・竜門・永原・中野の各校区）に設置され、子どもばかりでなく、一般の歩行者の事故防止にも大きな成果をおさめていますスクール・ゾーンの設定によって今春の運動期間中の事故は、昨年の同期に比べて全国で二千六百五十五件で五〇・九パーの減となっています。スクール・ゾーンの重要性が認識された結果だといえます

家庭環境下での事故が多い

重点の第二は幼児（保護者・母親ぐるみ）老人への交通安全教育の充実です。

スクール・ゾーンの設定によって朝の登校、登園時の事故は少ないが、帰宅後の家庭環境下での事故は昨年で八六・六パーを占めており、その半分近くの事故が午後二時から同六時の間に起こっています。そこで今秋の運動には交通安全教育が、もう一つの重要な柱となっているものです。

また、幼児の場合、単独で事故にあうケースばかりでなく、母親といっしょにいる際に、事故にあうケースが多いことです。

こうしたことから、今秋の交通安全運動では、幼児への交通安全対策、とくに母親ぐるみの交通安全教育を強力に実施することにしています。同時に子どもと並んで老人も交通事故にあう危険性が多いので、老人への交通安全教育の徹底を図ることとしています。

〈保護者〉

□…幼い子供の手はしっかりにぎり、右側を歩かせましょう。

□…横断は〝右・左・右をよく見て〟渡らせましょう。

〈ドライバー〉

○…学校の近くや、子供の多い所では、必ず徐行しましょう。

○…横断歩道を渡ろうとしている老人や子供を見かけたら、必ず止まりましょう。

ことしの十月一日以降に運転免許試験を申請する人、あるいは免許の更新、再交付の申請をする人に渡す運転免許証は、写真化されたものになります。

現在の運転免許証は、青色の二つ折りになったものですが、新しい運転免許証は横九センチ、縦六センチの一枚型で、免許を受ける人の写真と免許の種別、氏名などが一緒に撮影された①耐久性のある②内容の鮮明な品質のものです

運転免許証に記入される氏名や生年月日、免許の種別などの文字と申請した人を、いっしょに撮影して作成します。

この運転免許証の作成には、免許を受ける人を直接撮影する方法と、申請した人が提出した写真を複写する二つの方法があります。

①…直接撮影の方は、新しく試験を受けて合格した人。

②…写真を復製して作成するのは更新あるいは再交付の申請をした人。

10月から一枚型の新しい運転免許証

〈写真化のねらい〉

免許証を写真化するねらいは、

①内容が鮮明で汚れたり破れたりしない。

②水にぬれても、形や内容が変わらない。

③有効期間が過ぎた古い免許証をまとめて焼却する際に、公害が発生しないように検討されている。

④免許証の写真のはりかえとか、記入されている内容を書きかえるようなことができなくなる。運転免許証の不正使用を防ぐ。

⑤免許証の保管、出し入れが便利になる。

などによるものです。

健康

軽いスポーツもまず予備運動を

レジャーあるいは健康管理の一環として、スポーツをはじめる人が増えてきた。しかし、熱中しすぎて思わぬケガをすることもある

そこで、ケガを最少限にくいとめるために、その初期の手当てと予防をまとめると――

〈ねんざ〉患部を冷却し、内出血を押さえるために冷やしたタオルと包帯をまき、患部を心臓より高くする。

〈肉ばなれ〉ケガした直後は冷やして安静にし、二十四時間たったら温める。二、三週間は痛むがこのころから軽い体操ができるようになる。

〈アキレス腱断裂〉急に走ったり、ジャンプしたとき、プッと音がしたり、棒でなぐられたような感じで切れ、ツマ先立ちができなくなる。これは手術以外に治療の方法はない。

予防法としては、なんといっても十分なウォーミングアップ。血液の循環をよくし、筋肉の伸縮を活発にするほかに、十分に準備したという精神的な安心感が裏づけになってタイミングのよい動作ができるようになる。

また、疲れて体がこわばってきたり、足が重くなったときは赤信号。こんなときは十分な休養をとるようにしたい。

話題あれこれ

総合グラウンドにナイター施設完成

町が塩入に建設中の町総合グラウント内（四万五千平方㍍）に、このほどナイター用の夜間照明灯が完成しました。

この夜間照明灯は野球場（一万平方㍍）の周囲に八基建てられ総工費四百六十万円。一基に千ワットが六灯（ハロゲン灯四・水銀灯二）で、全基点灯すると四万八千ワットの明るさ。ソフトボールは二面で同時使用ができます。

当分は照射角度などのテストを行ない九月上旬から使用します。

消防ポンプ操法を全団員が研修

町消防団（団長・大迫豊蔵）は八月一日の消防記念日にあたり同月二十日、加治木中グラウンドで記念式のあと、消防ポンプ操法を研修しました。

式の前に、郡西部消防組合（消防長・下猶篤男）の消防士十三人が可搬ポンプ、消防車ポンプ操法を披ろう。これは従来のポンプ操法の基本内容が改正されたので、動作や操作方法などを団員に模範紹介したものです。

団員たちは改正の要点を身につけようと、消防士らの一挙一動と安楽道男士長の内容説明に聞き入っていました。新しいポンプ操法による、団員たちの今後の訓練の成果が期待されます。

父ちゃんの機織り工 20人ただいま特訓中

町内の辺川と西別府にある絹織物工場内にお父さんの機織り工がお目見え、七月から二十人がなれぬ手つきで、ただいま特訓中。

これは「つむぎ」工程のうちの素地づくりで、とても力のいる仕事で男性にかぎるという。

三カ月で一応モノになるとの話だが、実際トントンやってみると「ツルハシやクワ、金づちを握るごちゃいんもはん。細か糸に太か手がじゃめなって……」

夫婦連れで工場に通う人も数組いまのところ父ちゃんは研修生なので、母ちゃんの方がサラリーは多いと、笑いながら「これで出稼ぎに出なくてもいい」と、身近な仕事に新たな期待をかけている。

お知らせ

検察審査会の補充員に木場さん

加治木検察審査会では、このほど検察審査員及び補充員を選定しました。当所関係は次のとおり。

□補充員　木場フジエ（岩原東）

―検察審査会の役目―

検察官は、犯罪の容疑者を取調べますが、裁判にかけるか（起訴）かけないか（不起訴）は検察官だけにまかせられています。不起訴になり、納得のいかない事もありますそれでは被害者がうかばれません

そこで被害者は検察審議会に申し立てて、もう一度調べなおしてもらうことができます。また、検察審査会もみずから、事件をとりあげることができます。

検察審査員には、選挙権を持った人たちの中から、毎年くじで選ばれて審査員になります。

「住みよい社会」

厚生省提供のテレビ放送

タイトル…「住みよい社会」15分カラー番組

放送局名…鹿児島テレビ放送

放送時間…毎土曜日午前11時15分

〈9月放送〉

1日　健康保険の改善

8日　老人と社会活動

15日　ホームヘルパー活動と孤独死ゼロ運動

22日　身障者と身障者福祉工場

29日　ごみを考える

〈10月放送〉

6日　心の健康

13日　よい歯でよくかみ、よい体

20日　三歳児健康診査を受けよう

27日　児童相談から現代の世相を探る

郵政外務職員を募集 受付は9月17～29日

九州郵政局では、九州管内および東京、京阪神地区の郵便局に勤務する外務職員を募集しています

受験希望者は、郵便局で申込書を請求してください。

□採用人員（男子のみ）

九州　三五〇人

東京　二〇〇人

京阪神　一五〇人

□応募資格

①九州地区＝来年四月一日現在で満十八歳以上二十五歳以下の者（来春高卒見込みの者を含む）

②東京地区＝来年四月一日現在で満十五歳以上三十五歳以下の者（来春の中高卒見込者を含む）

③京阪神地区＝来年四月一日現在で満十五歳以上二十五歳以下（来春の中高卒見込者を含む）

□応募受付

九月十七日から同月二十九日まで（当日消印は有効）

敬老の日

ご長寿おめでとう

おとしよりを敬おう

≫9月15日≪

九月十五日は「敬老の日」ですこの日は、多年にわたって社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝うとともに、とかく孤独で、みじめな生活に陥りやすい老人の生活を明るく、ゆたかなものにするため、すべての人が老人福祉についての関心と理解を深め、また老人自身も生活の向上に努める意欲を高めようという趣旨で設けられたものです。

この九月十五日を中心に二十一日まで「老人福祉週間」が実施され、全国各地で敬老の行事が催されます。

「老人福祉法」も昭和三十八年に制定され、老人の福祉を増進するための諸施策が逐次強化されています。

しかし、老人問題は広範囲な領域に拡がっており、一朝一夕では解決のつかない問題が多いのが実情です。たとえば、家庭内における老人の処遇一つについても、若い人達の協力が必要ですし、老人自身の気持ちの持ち方いかんに、よっても大きく変わってくるものです。

ただ共通にいえることは、明るい家庭、明るい社会を築くための努力をおしまぬことであり、国や県、市町村だけでなく、企業、地域社会、家庭、個人のすべてが老後対策の推進に参加して、はじめてその効果が期待されるものです

町では、九月十五日の「敬老の日」に八十歳以上のお年寄りに、長寿のお祝いとして〝敬老年金〟をお贈りしています。

満八〇～八四歳　三千円
満八五～八九歳　六千円
満九〇～九九歳　一万円
満百歳以上　二万円

このほか、町婦人会や町社会福祉協議会も例年、お祝いの品を贈っています。また、地区や部落などでも敬老会にお年寄りを招いて即興の演芸で一日を楽しんでもらうなど、計画しているところも多いようです。みんなで「敬老の日」にふさわしい祝日としましょう。

この機会に身近な、お年寄りの長寿を祝い、今後の健康を祈るとともに、自分自身の老後についても考えてみたいものです。

40歳代から発生

ガン

健康診断で早期発を

ガン（悪性新生物）は、その初期には痛くも、かゆくもない病気です。いつ、どうして、ガンができるのか、はっきりわかりません「早期発見が、ガンから生命を救う」最良の方法とされています。

日本人に多いガンは、胃ガン、子宮ガン、肝臓ガンなどです。ガンは四十歳から急激に発生しますが、自覚症状がなく、症状があってからでは手遅れの場合が多いのですが、最近では医学の進歩によって早期に発見し、早期に治療すれば、健康を取りもどすことができるようになりました。

したがって、なんの症状もなく健康に自信があるときでも、年に一回か二回は定期的に健康診断をうけることが、なによりも大切です。三十五歳を過ぎたら、年に一回は健康診断をうけましょう。

働き盛りに多い難しい病気、それがガンなのです。

集団検診があったら必ず受けましょう

〈ガンの早期発見十カ条〉

❶ 原因がわからず、痛みもしないのにやせてきて、顔色がわるくなり、貧血してくることはないか（すべてのガン）

❷ ながいこと胃腸の具合がわるくはないか。食欲はおとろえないか（胃ガン）

❸ おりものが増えたり、血がまじったりしないか。不定期出血や接触出血はないか（子宮ガン）

❹ 乳房のなかに、ながく消えないシコリはないか（乳ガン）

❺ ものを飲みこむとき、つかえるような気がしないか。（食道ガン）

❻ 便通の調子がくるったり、血がまじったりしないか。（大腸・直腸ガン）

❼ せきがながく続いたり、たんに血がまじったりしないか。（肺ガン）

❽ 声がかすれて、ながく治らないことはないか。（咽喉ガン）

❾ 口の中や皮膚に、治りにくい潰瘍はないか。（舌・皮膚ガン）

❿ 尿の出がわるかったり、血がまじったりしないか。（腎臓・膀胱・前立線ガン）

戦没者等の妻に対する特別給付金

受付け

戦傷病者・戦没者などの妻に対する特別給付金（継続分）は、関係法の一部改正によって、本年四月一日から適用され、引続き特別給付金制度を継続することになりました。

支給対象者は、昭和三十八年に特別給付金の国庫債券（い号二十万円）の交付を受け最終償還を終わったもので、本年四月一日現在生存し、公務扶助料、遺族年金等を受ける権利のある戦没者等の妻

請求手続きなど詳しいことは福祉課・援護係にお尋ねください。

軽自動車の検査

〈十月一日から〉

いよいよ十月一日から、軽自動車の検査が始まります。

■…現在、ナンバーをつけて使用している軽自動車の検査は、軽自動車届出証の届出年月日によって、期限が違います。

■…本年中に検査の対象となる軽自動車は、次のとおりです。

対象となる届出年月日	検査期限
昭和41年12月31日以前	48年10月
昭和42年1月～12月末	〃 11月
昭和43年1月～7月末	〃 12月

早目に検査を受けましょう。

恒例の〝夏の二大行事〟

夏まつりと太鼓おどり

祭りちょうちん・鐘や太鼓でにぎわう

湯原昌幸と歌う池田重子さん

加治木の〝夏の二大行事〟太鼓踊りと夏まつりは、ことしもたくさんの町民や県内外からの観客、お盆帰省者などがつめかけ、にぎわいました。

四つの大字から九十六人が出演まず、春日神社で庭踊りを奉納。やがて仮屋ん馬場場へ。

夏まつり

第七回町民夏まつりは、八月三日、四日の二日間行なわれました前夜祭は日大高校グラウンドで演芸、花火大会、網掛川の灯ろう流しなどで幕あけ。

二日間の本祭は、商工関係、踊り会、婦人会、協賛各団体による総勢五百人による踊るパレードに始まり、蒲生田通りから会場の加治木高校グラウンドまでの沿道はオハラ節やハンヤ節のメロディにすっかり魅せさせられた観衆で黒山の人だかり。

夜の呼び物は、やはり待望の湯原昌幸一行の〝歌謡ショー〟かざり気のない口調で会場をわかし、気やすく話しかける、明るくて気さくな湯原昌幸の歌に、広い会場もギッシリ。ときおり舞台に走り握手を求める数人の女性や青年たち「ひとつも気どらないところが好きです」と、舞台の上に招かれていっしょに歌った少女など、例年にない盛り上がり。会場をうずめた三万人の観衆は、夏の夜風にゆれる祭りちょうちんの下で、手拍子とともに、最後までショーを楽しんでいました。

太鼓おどり

加治木名物〝太鼓おどり〟は、お盆明けの八月十六日に町内四つの大字から九十六人（うち女五人）が出演、伝統の郷土芸能を披ろうしました。

当日は10号台風の余波が多少残りましたが、例年同様の太鼓（てこ）おどい日よりとなりました。午前八時半、春日神社に奉納、十時から仮屋馬場での打っちゃげと庭おどり

「太鼓（てこ）おどいは仮屋ん馬場ん、打っちゃげ」これを知る町民やお盆帰省客で道路も石垣も満員。報道関係のカメラマン、息子や孫のおどり姿を記念にと写す人。郷里のおどりを納めて県外へ帰るのかカメラや8ミリをさかんに向ける人などでいっぱい。

勇壮な鐘や太鼓の音に合わせて大きくゆれる、色とりどりの矢旗加治木の太鼓おどりは、ねっからおどりを愛し、次の世代へ守りおどり続ける老若男女たちによって終日おどられ、町民の目を楽しませました。

各大字の保存会では、踊り手不足で頭をいためていますが、そのピンチを五人の女性が補ない、数多い男性にまじり踊る姿が目立ちました。ご苦労さまでした。

竜門句会

朝読みの子の訥訥と蟬生まる　井上透山

サングラス孤独の顔で歩き出す　横山江南

行水に母の手を蹴る生命あり　恒吉斗南

汗の街目鼻もあらず火山（よな）灰すさぶ　鶴田耕

黄硫香にむせる山路や緑濃く　中山待香

霧流れうつつに朱き御堂あり　蓑毛夏江

花火見の車ひしめく埋立地　松永愛子

パリパリと音して伸ばす盆提灯　伊丹司

手花火や向ふにいる子掌をたたく　林玄洋

篤志寄付

五千円　東京都　下村とみ様

照会のお礼とともに「加治木の学業（育英）資金の一部に役立ててほしい」と寄付。

婦人会だより

8月22日＝町婦人会現地研修会国分市。「部落婦人会長はどうあるべきか」須崎東、浜村、向江町の会長が実態報告。

―婦人会が会員に喜ばれ愛されるのは部落の会長として責任を果たそうとする姿勢（やる気）によって左右される―。

8月19日＝県ブロック別研修会国分市。「青少年教育と婦人のありかた」参加一会員の発言から

―社会保障制度の確立は有り難い。しかし充実によって若いお母さんは、教育は人がするもの、国がしてくれるもので、自分の子供を真剣に考えて、躾をすることを忘れ、ただ金もうけに一生懸命だこんな姿勢では子供たちが、かわいそう―。

この発言の中に多くの問題がふくまれているのを感じ、反省しなければいけないのではないか。

みかき運動＝㊙見なおし、㊕考えなおし、㊔ききなおし＝町婦連のみかき運動を推し進めましょう

生活簡素化運動＝先日、自治会を通じ〃お返し廃止カード〃を配付しました。今後の差し上げ物にそえてご利用ください。私たちの生活から、むだをなくしましょう。

〃〃〃〃〃〃香典返しを寄付〃〃〃〃〃〃

町社会福祉協議会

香典お返しのかわりに、ご寄付をいただきました。厚くお礼申しあげます。

金額	ご遺族	故人
一万円	吉原	徳寄浪枝（夫武男）
五千円	港町	入部マス（夫清助）
一万円	曲田	岩崎アサ（夫源助）
二万円	天神	阿久根重雄（母マンギク）
五千円	市来原	市来原清則（父清志）
三千円	小鳥	松本ヤス子（母小陣フデ）
五千円	朝日町	曽根キクエ（姉有迫テル）
五千円	川内	川内重良（母スエマツ）
二万円	岩原西	瀬戸口一清（父重清）
一万円	東諏訪	井上春子（夫忠光）
一万円	岩原東	柏原和宣（母カノ）
二万円	井手向	山下幸子（夫巌）
二万円	隈原上	堂森輝文（母シズ）
一万円	西反土	今薗一郎（母ちよ）
一万円	西ノ原	西ノ原ハツエ（夫辰男）

…町育英資金へ…

三千円	田中	壱岐テル（夫静晴）
一万円	隈原上	堂森輝文（母シズ）
一万円	井手向	山下幸子（夫巌）

…一般寄付へ…

五万円＝交通安全対策費に

布越　犬童秀清（妻チエ）

○八月二十日までのご寄付を掲載しました。

9月の当番医

2日	大川医院	②二〇三二
9日	神田橋医院	②二〇二四
15日	平山医院	②二四六八
16日	玉利病院	②二三二八
23日	壱岐医院	②二二二二
30日	池田医院	②二二二〇

随想

〃病床で〃

曽木隆輝

暦だけは秋でも残暑はきびしい。さる七月のなかば、身体の具合が悪いので、お医者さんに診察してもらった。疲労だろうから、しばらく自宅に引きこもって静養しろといわれた。が諸行事が多く引きこもって安閑としているわけに行かなかった。

それでなお調子は悪くなったので、意を決して入院加療することとした。生まれて始めての入院生活で、しかも真夏のことゆえ、先ず環境になれることが、私の第一に克服せねばならぬ所だった。寝ているのも一日ぐらいならいいが数日となると腰が痛む。

毎日いろいろな検査が行なわれた。何しろ五十年も六十年も使いばなしの体だ。あちこちにガタがきている。病院のみなさんが大へん注意深く、また親切に何かと面倒を見てくださる。おかげで体調も快復してきた。

病室の窓から、夏まつりの花火の音や、太鼓おどりの鐘、太鼓の音をきいたり、桜島の降灰のほこりの様子をながめたりして、時の流れを静かに見送るのだった。

挟竹桃やむくげが、強い太陽の陽ざしにつぎつぎに咲いている。雨もめったに降らず暑い日が続くのに。病人たちの、ともすれば気弱になる心を励ますかのように真紅や純白の花びらが美しい。

各方面に迷惑をかけながら、病床に横たわっているのは心苦しい私は夏は事務的に、そう忙しくないからと思ったのだが、役場もいろいろ問題にぶっつかっているようだし、気が気でなかった。でもみなが十分静養しろと慰めてくださって感激にたえなかった。

みなさんが大へん心配して、あちこちからお見舞に来ていただきほんとに申しわけなかった。ありがたいことだった。

今度まではどうにか修繕ができて、このオンボロ車も、もう一度使えるまで無理して修理してくださった病院のみなさんに心からお礼を申しあげたい。

秋は「敬老の日」もある。運動会やスポーツの行事も多い。農家は収穫の時期でもある。健康を害して始めて健康の有り難さを知った。